

オープン してます！

オレンジカフェ

地域の“居場所”に新たな候補出現！！



左上写真：オレンジカフェほきまの様子
右上写真：談笑する参加者の皆さん

オレンジカフェとは？

地域包括支援センターや高齢者施設など区内各地で開催されている「オレンジカフェ」。

「オレンジカフェ」とは高齢者、認知症が心配な方やご家族、ボランティア、介護・医療関係者など、どなたでも参加できる集いの場です。

お茶やおしゃべりを楽しむ以外に、専門職員による相談やミニ講座、レクリエーション、体操などを実施しています。高齢の方々にとって気軽に集まれる居場所であるとともに、ご家族に

としては介護や認知症に関する悩みの相談や情報交換の場でもあります。

デイサービスとは異なり、お茶代程度の料金で参加でき、介護予防や早期発見につながっています。

次のページでは、実際に地域包括支援センターで開催している「オレンジカフェ」の活動をご紹介します。



地域みんなで居場所を作る “おひさまカフェ”地域包括支援センター西綾瀬



地域包括支援センター西綾瀬では「おひさまカフェ」と題して、平成27年11月から誰もが気軽に来れる場所としてカフェを開催しており、たくさんの方々がお越しくださいます。

開催に当たっては、「絆のあんしんネットワーク連絡会」を活用し、絆のあんしん協力員や民生委員の皆さんと企画・調整を行い、開催当日も実際にボランティアとしてご協力いただいています。

参加費 100 円をいただき、コーヒーやお茶とお茶菓子を提供。

ボランティアの方にはそのお手伝いや、お一人でご参加いただいた方のお話し相手になっていただいています。

ボランティアの方がお話し相手になってくださったことで、「とても楽しかった」「今日来て良かった」と参加の皆さん笑顔で楽しそうに帰って行かれます。包括職員だけでは、細やかな対応をすることが難しく、「楽しい時を過ごしていただく」おひさまカフェが開催できるのもボランティアの方々との共同開催のおかげです。



“おひさまカフェ”で談笑中



“おひさまカフェ”ボランティアの皆さん

“おひさまカフェ”の概要

場 所：地域包括支援センター西綾瀬

電 話：5681 - 7650

参加費：100 円



各地域包括支援センターで行われているオレンジカフェ一覧

センター名	名 称	実 施 会 場	センター連絡先
基 幹	ほっとサロン万葉	特養ホーム万葉苑	5681-3373
あだち	いどばたカフェ	地域包括支援センターあだち	3880-8155
伊 興	ゆるカフェ～憩う	区営伊興町本町第2アパート集会場	5837-1280
入 谷	いりやオレンジカフェ	特養ホーム足立翔裕園	3855-6362
	こじやオレンジカフェ	特養ホーム古千谷苑	
扇	扇 カ フ ェ	ゆうあいの郷扇	3856-7007
江 北	よってカフェ江北	特養ホーム ハピネスあだち	5839-3640
さ の	ほっと・カフェ	ゆあいらんど・さの1階	5682-0157
鹿 浜	カフェさくら	特養ホームさくら	5838-0825
新 田	カフェしんでん	新田デイサービスセンター	3927-7288
	カフェみやぎ	都営宮城第3アパート集会所	
関 原	サンかふえ梅田	地域包括支援センター関原	3889-1487
千住西	縁側カフェ	中 居 町 会 館	5244-0248
千寿の郷	いっぷくカフェ	柳原リハビリテーション病院	3881-1691
千住本町	せんじゅカフェ	帝京科学大学千住キャンパス3号館1階	3888-1510
中央本町	青井カフェ	コワン・ド・あおい	3852-0006
東 和	とうわオレンジカフェ	特養ホーム イーストピア東和	5613-1200
中 川	中川オレンジカフェ	成 仁 医 院 1 階	3605-4985
西綾瀬	おひさまカフェ	地域包括支援センター西綾瀬	5681-7650
西新井	笑和カフェ	地域包括支援センター西新井	3898-8391
西新井本町	オレンジカフェはちみつ	老健 レーベンハウス	3856-6511
はなはた	はなカフェ	特養ホーム新生苑喫茶はなはた	3883-0048
	桑袋カフェ	都営花畑第4アパート第一集会所	
一ツ家	メモリーカフェひとつや	一ツ家稲荷神社の社務所	3850-0300
日の出	ひのでカフェ	UR日の出町団地2号棟1階集会室	3870-1184
保木間	オレンジカフェほきま	一 粒 の 麦	3859-3965
本木関原	カフェよってこ	本木一丁目コミュニティ住宅集会室	5845-3330
六 月	第三団地オレンジカフェ	U R 竹 の 塚 第 三 団 地 集 会 室	5242-0302

詳しい日時等は、各地域包括支援センターへお問い合わせください。

ご報告
します！

今回の担当は・・・

東部ブロック！
(西綾瀬・東和・中川・さの)



絆のあんしん協力員&協力機関

自分たちの地域は自分たちで見守る！

絆のあんしん協力員 Sさん

Sさんが訪問活動をはじめたのは、2010年の4月。ひとり暮らしのKさんのお宅に月2～3回訪問し、ちょっとしたお話相手をしています。不安に思われていることの相談にのったり、今では遠方にいるご家族からも強い信頼を得られて活動をしています。

先日まで体調不良であったKさんもSさんが来る日を楽しみにしており、「顔を見ると元気になります」「来てもらって安心なんだよね」と笑顔で話されていました。現在足立区では、高齢の方が利用できる施設も数多くありますが、Kさんは、「自分の家で最後まで暮らしたい」と希望されています。活動を通じて、ご本人が不安なく『住み慣れた地域』で過ごせるよう支援を行っていきたいとSさん。



利用者のKさん(左)と協力員Sさん(右)

地域包括支援センター東和から

地域のネットワークを強固なものに！

絆のあんしん協力機関

2か月に1回の頻度で開催している絆のあんしんネットワーク連絡会。今回は、ペットと暮らす高齢者の支援活動をされている絆のあんしん協力機関、「まるち動物病院」ちかあと親跡院長に、『高齢者がペットとともに住み続けることの利点や実際に起こる問題』について活動内容の紹介を含めてお話しいただきました。

連絡会には地域のケアマネージャーや郵便局員の方もご参加いただいております。地域で活動されている方々との顔合わせの機会ともなっています。今後も絆のあんしんネットワーク連絡会では「顔が見える関係づくり」を大切に、地域の高齢者を支援するあんしん協力員や地域住民、ケアマネージャーや関係機関の活動をつなげる役割を果たしていきたいと思います。



「まるち動物病院」親跡医院長

地域包括支援センター中川から